

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	コベルプラス新井宿教室			
○保護者評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月29日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年9月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	普段の療育時に保護者様とコミュニケーションが取れている為、お子さまの特性や保護者様の悩んでいらっしゃる事を把握することができている。	教室のスタッフ同士で療育時のお子様の様子や保護者様からのお声をすぐに共有し、対応を検討するようにしている。保護者様やお子様のご希望やご要望を第一に、寄り添い支援を意識して取り組むようにしている。	毎日のカンファレンスの時間に前日の療育の共有を必ず行うようにしている。お子様について漏れの無いよう、スタッフ全員で確認をしている。
2	訪問先の先生とのコミュニケーションをこまめにとり、必要な支援について一緒に考えていくことができる。	訪問先の先生方のお考えや目標なども考えた上で、お子さまにとって最良な支援は何かを考えていくようにしている。	訪問支援の方法（直接支援、間接支援など）を訪問先の先生と定期的に検討し実行していくようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	効果的な訪問支援について、ケースが少なく模索中であること。	訪問支援員の支援方法について対応するケースが様々であり、よりよい支援について常に模索、検討している。	引き続き訪問をさせていただき、支援の経験を増やしていく。園や学校の先生のお考えに沿って、より良い訪問支援について検討し、実行していく。
2			
3			